



とくていひ えいりかつどうほうじん  
特定非営利活動法人

# 自立支援センター おおいた

「パークプレイスへ行って  
おもいきり遊ぼう！」へ参加！

## 第5号

発行元；とくていひ えいりかつどうほうじん  
特定非営利活動法人

自立支援センターおおいた

発行年月日；2004年8月25日

編集担当者；木高 清香、松浦 実

竹内 和佳子、河野 龍児



高城駅に到着！！



「餃子おいしかったなあ～>^<

さあ、これからおもいきり遊ぶぞー」

パークプレイス内はエレベーターが2基有り、身障者用トイレも整備されており、誰もが安心して長時間おもいきり遊べる大型の複合商業施設という感想を持ちましたが、只、身障者用トイレの形式が統一されていない為、障害の程度や種別により利便性に違いが現れるのではないかと感じました。

約4時間もの間、参加者の皆さんとおもいきり遊び、午後15時半に高城駅へ向かい、そこで解散。それぞれがたくさん楽しい思い出を抱え帰路に就かれたようでした。当団体もこれから楽しい催しをどんどん企画しますので、皆さんも是非ご参加下さいネ！

[参加者の皆さんのご感想] 「初めてのパークプレイス、暑かったけど楽しかったです。いつも車椅子で回りを見上げてるけど、観覧車に乗って見下ろすのも、たまには良いものだな～なんてネ！」 「初めての参加に不安を抱いていましたが、皆さんにお会いしたらそんな思いは吹っ飛んでしまいました。その上、介助して頂いた方の優しさに安心してお任せしておりました。お陰様でこの夏の楽しい思い出を増やすことができました」

平成16年8月7日(土)に、自立生活センターおおいた主催の自立生活プログラムとして、パークプレイスへ行きました。今回の企画は、高城駅がバリアフリーになったので利用してみようという目的と、日頃からパークプレイスへ行きたいと思っても行くことができないという多くの声があったため、自立生活プログラムとして計画しました。この日は真夏ということもあり、かなり日差しが強く、厳しい暑さでしたが、障がい者8名、健常者7名の計15名の参加者が午前9時に別府駅に集合し(数名は大分駅からの合流)高城駅までは電車で移動。そこからパークプレイスまでは、タクシーとリフトタクシーで向かいました。週末ということもあり電車は乗客も多く、車椅子を詰めて乗り込むという状況でした。高城駅には、駅の外へ出られるスロープがあるのですが、急坂で凹凸が多く介助者無しでは注意が必要です。

パークプレイスへ到着後は2つのグループに分かれ、ショッピングをしたり、昼食をとったり、観覧車に乗ったりとそれぞれが自分の好きなことをして楽しい時間を過ごしました。観覧車には車椅子専用のゴンドラが2台有り、扉も両開きになっていて乗りやすく、乗り込む際は、スタッフの方が快く手伝ってくれました。只、車椅子で乗ると片側の景色しか見えず、向きを変えてもう一度乗り直す人もいました。

# 留学生を交えてのバリアフリー探険&交流会

## 「グレートバリアフリー探険隊 for 留学生編」

平成16年7月17日午前10時より、財団法人 日航財団研究開発センターのご依頼を受け、JR別府駅から竹瓦温泉までの道のりを、留学生の方々とAPUの学生さんと障害当事者で、身障者用トイレや道路の段差、JRのエスカレーターなどのバリアフリー探険を3班に分かれて行いました。

当日は、猛暑の中での開催でしたが、参加者の皆さんは暑さにも負けずに、車椅子の体験乗車を交代しながら行い、町中を探険しました。



駅ホーム上エレベーター乗降風景

初めて、車椅子に乗った方が多く、まっすぐに進むことが出来なかったり、段差などでつまずきなどして悪戦苦闘の様子でした。数箇所の身障者用トイレを廻り、車椅子に乗ってもらい、扉を開け、トイレに移乗して貰いましたが、皆さんてこずっていたようでした。横断歩道を渡る時に出来る段差で前のめりになる人もいて、車椅子に乗って町に出て行くと様々な障害が有るのが解ったようでした。

また、別府駅の方にも協力して頂き、車椅子用のエスカレーターも使わせて貰い、学生さん達にも体験して頂きました。他に、自販機やATMも一人で使ってみて扱い易いかを、体験している人もいたようでした。時間が少しづれ込むまで、参加者の方達は色々な所を探険されていました。

留学生の方々は、アジアの国の人が多かったようでしたので、色々な国の言葉が飛び交っていました。

昼食の時に、一人一人に自己紹介と車椅子に乗って町歩きをした感想を言ってもらい、「こんな所は良かったけど、あそこは使いづらかった」など色々な意見が出ました。あとは、「障害の種別で車椅子の方には不便だが、視覚障害者の方には無いと困るという事も知った」「沢山の事が解り、国に帰ってこの経験を生かしたい」と参加者の皆さん方はお話をしていました。

短い時間でしたが、暑い中ご苦勞様でした。



身障者対応の自動販売機



みらい信用金庫に有る身障者用トイレ

# ジルかめいだんたい きゅうしゅうちく けんしゅう こうりゅうかい さんか JIL加盟団体(九州地区)の研修&交流会へ参加!



けんしゅうかい はな あ ふうけい  
研修会での話し合いの風景



かくだんたい じこ  
各団体の自己PRタイム

## へいせい ねんど だい かいせんと ベつぷ 平成16年度「第2回泉都別府まちづくり支援事業」補助金交付決定!



ほじょきんけつていだんたい こうふしきふうけい  
補助金決定団体への交付式風景

へいせい ねん がつ 30 きん ~ 31 日(土)の日程で福岡県春日市のクローバープラザに於きまして、JIL(全国自立生活センター協議会)加盟団体・九州地区の研修&交流会が開催され、台風の接近する中を70名を越える参加者が集まりました。

第1日目のプログラムは、今回の進行役である沖縄県のCIL イルカの長位さんの開会挨拶で始まり、研修の内容や意義や趣旨説明の後、それぞれの団体がビデオ等で用意した事務所自慢のPRタイムとなりました。

当団体は、ビデオで撮影した事務所内やスタッフが仕事をしている模様、そして、留学生の為にに行ったバリアフリー探検の様子をスクリーンに映しながら、日頃の様々な活動について話をしました。

第2日目のプログラムは、午前中は、団体代表者会議とその他の人達は、New&Goodsの後、買い物と料理についてのロールプレイが行われ、利用者主体の介助について学びました。午後からは、障害当事者と介助者(健常者)に分かれての分科会が行われ、障害当事者側では、「本当の自立とは？」について熱い討論が交わされ、介助者側では、「障害者主体の介助とは？」について意見交換が行われました。

今回、九州では初めての試みでしたが、とても意味のある充実した研修&交流会でした。

## しえんじぎょう ほじょきんこうふけつてい しえんじぎょう ほじょきんこうふけつてい しえんじぎょう ほじょきんこうふけつてい

平成16年6月1日に別府市コミュニティーセンターにて「第2回泉都別府まちづくり支援事業」についてのプレゼンテーションが開催されました。当事業所は「高齢者や障害者を問わず全ての人に優しく住みやすいバリアフリーのまちづくり」を本事業の目的に掲げ、別府市内及び別府市周辺の観光施設や身障者用トイレ等のバリアフリー情報、観光地までの導線などの調査を行い、第1回泉都別府まちづくり支援事業において実施したホームページをより充実したものにしています。また、障害者と健常者による「バリアフリー探検」を計画致しました。その結果、昨年に続き補助金の交付を受けることが出来ました。

本事業については8月頃より調査を開始し情報公開へと取り組んでいきます。

この情報を考慮して頂き、是非たくさんの方々に別府へ訪れて頂きたいと思います。

## 『自立生活センターおおいたからのお知らせ』

平成16年度、麒麟福祉財団より助成を受けて、大分事務所のドアを電動開閉式ドア(リムロック)へ改修致しました。今まで、車椅子の人は介助者無しではドアを開閉できなかったのですが、これからはリモコン一つで動かせるようになり、重度の障害を持たれる方でも出入りが簡単になりました。



障害当事者で思っている事を言葉に出せないでモヤモヤしている方、言いたい事を言って心を開放してみませんか。当センターでは、ピア・カウンセリングを行なっていますので気軽にご連絡下さい。

0120-110-699

平成16年8月2日(火)中央公民館、3日(水)太陽の家コミュニティに於いて、別府市交通バリアフリー基本構想策定事業に関する「駅周辺の人やさしいまちづくり検討会(ワークショップ)」が開催され、当団体職員数名で参加し、別府駅・亀川駅周辺地区のまちづくりをバリアフリーの視点から今後どうすべきかということについて活発な意見交換が行われました。

### 【別府駅周辺地区に関する意見】

「駅前の放置自転車がなくて危険」「視覚障害者誘導ブロックをネットワーク化させることが必要」「車椅子に負担のかからない舗装や道路構造が必要」等、マナー向上や心遣いへの期待や歩道整備に関する意見が多く聞かれました。

### 【亀川駅周辺地区に関する意見】

「山側にエレベーターが付いた改札が必要」「踏切が危険なので山側の出口が欲しい」等、亀川駅についての意見が多く聞かれました。



財団法人 俱進会様より 300,000 円の助成金を戴き、ミーティングテーブル3台、ノート型パソコン1台を購入致しました。

現在、これらを様々な書類の作成や各種ヘルパー養成研修、身障者職員の仕事の円滑化の為に活用しています。

助成、誠にありがとうございました。

担当 平野 正

## 《 編集後記 》

残暑お見舞い申し上げます！

お盆も終わりましたが、まだまだ暑い日が続いていますね。

みなさんは、夏バテしていませんか？

私は、夏痩せすることも出来ないまま食欲の秋へ・・・(～)

トホホ・・・

さてさて、当センターの新聞も第5号となりました。

スタッフも増えたので、それぞれが記事を担当し、写真のレイアウトなどを一つ一つ教わりながら、文章まで作りました。

個性あふれる新聞ができたと思いませんか？

編集スタッフの気持ちが皆さんに届きますように・・・

(^ ^)

次号も待って下さいね^m^

特定非営利活動法人

自立支援センター おおいた

〒874-0014大分県別府市亀川浜田町33組

サクセスハイツマルコ101

TEL 0977(67)4880 FAX 0977(67)4924

<http://www.jp999.com/333/>

E-mail 333@jp114.com

私達は、利用者主体の介助サービスをして

おります。主なサービスは下記の通りです。

訪問介助サービス

ピア・カウンセリング 自立生活プログラム

福祉各種無料相談(0120-110-699)

自立生活・バリアフリーセミナー

バリアフリーコンサルタント

(ユニバーサルデザイン)